

本質を大切にしたピュア志向 デスクトップサイズの本格派

“プレミアムコンパクト”ともいえる「Reference 500」シリーズに新たに登場したパワーアンプ「AP-505」に「ピュアオーディオ特別大賞」を授与しました。単に小さいだけではなく、肉厚のアルミフロントパネルや、大型の針式メーターを備える堂々たる外観は、ピュアオーディオを語るにふさわしい仕上がりに。機能面では、XLRバランス入力も可能で、肝心のアンプ部にはHypex社のNcoreをベースとするアンプモジュールを搭載し、実用最大出力130W(4Ω)/chものハイパワーを達成。BTL駆動なら250W(8Ω/モノラル)で利用できるのも妙味です。音質は、フルバランス回路ならではの広大なサウンドステージと繊細なニュアンス表現が魅力。プリアンプ機能を備える「NT-505」や「UD-505」と組み合わせれば、究極にシンプルでピュア度の高いオーディオシステムが構築できます。ライフシーンを意識しつつ、同社の培ってきた企画力や技術力を存分に発揮し、洗練の美の追求と、本質を大切にしたいピュア志向を高く評価しました。



特別大賞

ステレオパワーアンプ

TEAC
AP-505

YOPEN

SPEC ●実用最大出力：130W+130W(ステレオ、BI-AMP動作時) ●接続端子：XLR(バランス)入力×1、RCA(アンバランス)入力×1 ●外形寸法：290W×84.5H×271Dmm ●質量：4.4kg



金賞

プリメインアンプ
AX-505

YOPEN



SPEC ●実用最大出力：130W+130W ●接続端子：XLR(バランス)入力×1、RCA(アンバランス)入力×3、ヘッドホン出力(3.5mm4極) ●外形寸法：290W×81.2H×264Dmm ●質量：4.2kg

ティアックが提案する 新時代のオーディオ

現代のライフスタイルに寄り添いながら、サウンドクオリティにも妥協しない——
日本が誇るオーディオブランド、TEAC(ティアック)が贈る、
革新的なコンポーネントがVGPアワードを席巻しました。

文/鴻池賢三
(ピュアオーディオ部会審査員)
(ライフスタイル分科会 座長)



伝統と革新が融合した 洗練のターンテーブル

ダイレクトドライブ方式を採用する、薄型でスタイリッシュなターンテーブル。新開発のブラシレスDCサーボモーターを採用し、コギングを抑えた滑らかな回転を実現しています。カートリッジには「SUMIKO Oyster」を搭載しています。そして注目は新開発のトーンアーム。SAEC社とのコラボレーションにより、アームの支点到ナイフエッジ構造を採用している点が特長で、一般的なベアリング構造よりも分解能の高いサウンドを奏でてくれます。その技術が認められて「開発賞」が授与されました。伝統のアナログ技術と最新技術を融合させた、新時代のレコードプレーヤーです。



開発賞



企画賞



金賞

アナログレコードプレーヤー

TEAC
TN-4D

YOPEN

SPEC ●駆動方式：ダイレクトドライブ ●トーンアーム部：スタティックバランス型S字 ●カートリッジ部：MM型 ●接続端子：RCA(PHONO/LINE切替式)、USB Type-B ●外形寸法：420W×117H×356Dmm ●質量：約6.1kg